



平成20年度 第3回 JASDIフォーラム開催のご案内

## ゲノム創薬の現状と展望

2003年4月、ヒトゲノム配列の完全解読がなされ、生命科学情報が生み出されています。創薬研究において、ゲノム情報はとりわけ初期段階の創薬ターゲット探索に有用とされ、創薬ターゲット分子を発見することも可能となっています。更にポストゲノムシーケンスとして、トキシコゲノミクス、プロテオーム、メタボロームなどを駆使してゲノムをエビデンスとした新薬開発とテーラーメイド医療を目的とする取り組みがなされています。しかし、残念ながらゲノム創薬に対する大きな期待に対して、一般的には成果を実感されていないのが現状だと思われれます。

そこで、今回のJASDIフォーラムでは、「ゲノム創薬の現状と展望」と題し、ゲノム創薬の現状を整理し、医薬品となるまでの問題点、臨床現場での実際を各分野で精通した先生のご発表を拝聴し、学会員や医療関係者の方に身近に感じていただくことを目的に開催することとしました。皆様の、奮ってのご参加をお待ちしております。

### 記

日時 : 平成21年3月31日(火) 13:30~16:50  
場所 : 慶應義塾大学薬学部芝共立キャンパス マルチメディア講堂  
(東京都港区芝公園1-5-30)  
参加費 : 会員(JASDI) 3,000円、 非会員 5,000円、 学生 1,000円  
主催 : 日本医薬品情報学会(JASDI)

13:30~13:35 挨拶 日本医薬品情報学会 会長 山崎幹夫

座長 順天堂大学医学部附属浦安病院 薬剤科長 小清水 敏昌

13:35~14:20 「ゲノム創薬からシステム創薬へ」 システム薬学研究機構 代表幹事 宮城島 利一

14:20~15:05 「医薬品開発におけるゲノム薬理」 第一三共株式会社研究開発本部 データサイエンス部 部長 長沼 英夫

15:05~15:15 休憩

座長 田辺三菱製薬株式会社 事業開発部 部長 木曾 誠一

15:15~16:00 「ゲノム情報からインシリコ創薬へ」 京都大学大学院薬学研究科ゲノム創薬科学分野 教授 辻本 豪三

16:00~16:45 「UGT1A1遺伝子多型の臨床現場における応用」

16：45～16：50 まとめ，閉会挨拶

**申込方法**：①氏名 ②所属 ③連絡先（住所、TEL、FAX、E-mail）

④希望するフォーラムの種類（今回は第3回）⑤会員・非会員の別を記載し、

E-mail：[jasdi-forum09331@jasdi.jp](mailto:jasdi-forum09331@jasdi.jp) 宛に送信してください。

**申込締め切り**：平成21年3月27日（金）

**参加費**：当日会場でお支払いください。